



三井住友海上火災保険株式会社との包括連携協定に基づく主な取り組み

県民サービスの向上、地域の活性化に関すること

●減災・防災教育への協力

三井住友海上火災保険(株)は、災害発生時に自ら考え行動する力を養うとともに、多くの人が防災に向き合う機会を作り出すため、具体的な被災シナリオにおけるゲーム形式の体験型防災教育コンテンツを提供しています。

同社は今年度、若狭東高校の先生を対象にコンテンツを使った災害避難シミュレーションの体験会を開催しました。被災した際に食料をどのようにに分けるべきかについてグループに分かれて意見を出し合い、持病や宗教上の理由で口にできないものがある場合もあり、多様な事情への配慮が必要であることなど新たな気づきを得る内容となりました。体験会後は、参加した先生によって実際にコンテンツを活用した授業が行われました。



参加した先生によって実施した災害避難シミュレーションの授業風景



災害避難シミュレーション「HIRAQ」実施中の風景 みんな真剣に取り組んでいます。

●「交通安全クイズ」の周知

県により実施していた交通安全について学ぶことができる「交通安全クイズ」を周知するため、独自にチラシを作成して配布いただき、周知にご協力いただきました。



福井県では、令和7年12月まで交通安全について役立つ情報が学べる「交通安全クイズ」を実施しています。クイズは月ごとにテーマが変わり、回答いただいた方の中から、抽選で毎月30名に「ふくいはびコイン」500円をプレゼント！

※「ふくいはびコイン」は、スマートフォンアプリ「ふくいナビ」専用で使えるデジタル地域通貨です。詳しくは交通安全クイズ実施のふくいナビアプリをご覧ください。

福井県と三井住友海上火災保険株式会社は包括連携協定を締結し、県民の交通安全対策を推進しております。

配布チラシ

県民サービスの向上、地域の活性化に関すること

●道路の点検・管理業務のDX化

同社のドライブレコーダーが撮影した道路損傷箇所をAIが検知・分析のうえ、その路面状態を自動連携・クラウド上で一元管理し、道路の点検・管理業務を効率化する実証を敦賀市、永平寺町、若狭町にて実施しました。同社のドライブレコーダーを搭載する車両が多く、管理道路に対する点検範囲のカバー率が高かった地域では、道路管理業務の省人化に向けて導入が検討されています。



取組の全体像



道路損傷箇所の検知